

学習・生活実態調査（令和5年度）

集計結果と分析（国際教養学部・教育学部）



1. アンケートの実施

令和5年度学習・生活実態調査を、在籍者520人に対してGoogle FormsによるWeb調査で実施した。その集計結果を報告する。回答数は298人（回収率57.3%）であった。

実施時期	令和6年1月24日から3月13日						
対象者 (人)	学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合計（回収率）	
	国際教養学部	71	103	65	92	331	520
教育学部	47	51	56	35	189		
回答者 (人)	国際教養学部	40	55	35	47	177 (53.5%)	298 (57.3%)
	教育学部	33	27	31	30	121 (64.0%)	

2. アンケートの内容

学生に対する学習・生活実態調査として、住まい・通学方法、アルバイト時間、授業外学修時間、ふだんの時間の過ごし方、進路（就職、大学院進学等を含む）に向けた準備・活動、研究環境、進路支援の体制などの満足度などについて調査した。また、2021年度のアンケートから、⑤アクティブ・ラーニングに関する質問、⑫研究環境についての満足度の質問、⑯経済的支援の質問、⑰心身の健康相談体制の質問を新たに追加して実施している。さらに、本年度は、⑩国際交流センター（学生食堂）利用状況の調査も追加した。

3. アンケートの集計と分析

3.1 「①～② 住まいと通学方法」についての集計と分析

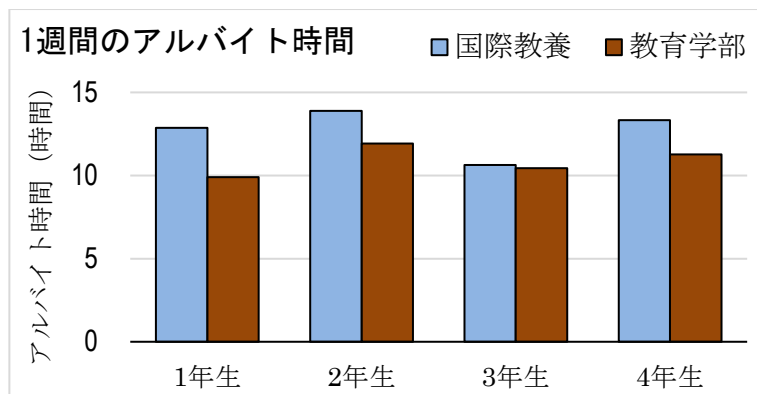
住まい	① 現在のあなたのお住まいについて、あてはまるもの1つをお選びください。 【選択肢】一人暮らしアパートなど、自宅、食事付きアパート、大学寮														
通学方法	② 大学への通学方法について、あてはまるもの1つをお選びください。 【選択肢】徒歩、バス、電車、自動車、バイク														
① 住まい 回答者298人中64%（190人）の学生は、親族と同居の自宅に住んでいる。昨年度（2022年度）の61%と同程度の値となっている。	<table border="1"> <tbody> <tr><td>自宅</td><td>190</td></tr> <tr><td>一人暮らし</td><td>82</td></tr> <tr><td>食事つき</td><td>18</td></tr> <tr><td>大学の寮</td><td>7</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	自宅	190	一人暮らし	82	食事つき	18	大学の寮	7	その他	1				
自宅	190														
一人暮らし	82														
食事つき	18														
大学の寮	7														
その他	1														
② 通学方法 53%（157人）の学生が、自家用車で通学している。徒歩・自転車・バイクでの通学生は、23%（68人）になっている。一方、電車・バスの公共交通機関の利用者は24%（73人）になっている。	<table border="1"> <tbody> <tr><td>自家用車</td><td>157</td></tr> <tr><td>バス</td><td>49</td></tr> <tr><td>電車</td><td>24</td></tr> <tr><td>徒歩</td><td>42</td></tr> <tr><td>バイク</td><td>9</td></tr> <tr><td>自転車</td><td>17</td></tr> <tr><td>スクールバス</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>	自家用車	157	バス	49	電車	24	徒歩	42	バイク	9	自転車	17	スクールバス	0
自家用車	157														
バス	49														
電車	24														
徒歩	42														
バイク	9														
自転車	17														
スクールバス	0														

3.2 「③ 1週間のアルバイト時間」についての集計と分析

アルバイト	③ 1週間あたりのアルバイト時間を入力してください（整数）。していない場合は、0を入力してください。
--------------	--

77%の学生がアルバイトに従事しており、昨年度（2022年度）の75%と同程度であるが、2020年度の64%に比べてアルバイト従事者が増加している。また、1週間のアルバイト平均時間は11.9時間であり、2021年度（一昨年）の9.8時間/週よりも長くなっている。

時間	国際教養学部	教育学部
1年生	12.9	9.9
2年生	13.9	11.9
3年生	10.6	10.5
4年生	13.3	11.3
学部平均	12.6	10.8
全学平均	11.9時間	

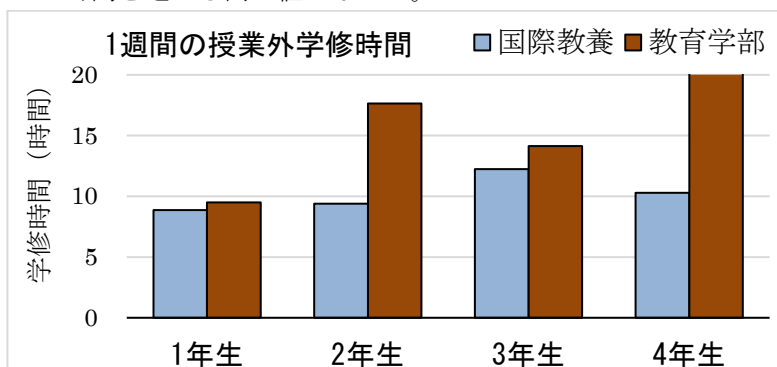


3.3 「④ 1週間の授業外学修時間」の集計と分析

授業外学修時間	④1週間の授業外学修時間合計を教えてください。平均的な数字を入力してください
----------------	--

1週間の授業外学修時間は、全学平均で12.2時間となり、2020年度（14.4時間）2021年度（15.0時間）2022年度（14.9時間）より短くなり、コロナ禍前の2019年度（12.8時間）と同程度になった。学部別では、国際教養学部は10.1時間（2022年度13.5時間）、教育学部で15.2時間（2022年度18.7時間）であった。教育学部の4年生で20時間を超える高い値になった。

時間	国際教養学部	教育学部
1年生	8.9	9.5
2年生	9.4	17.6
3年生	12.2	14.1
4年生	10.3	20.2
学部平均	10.1	15.2
全学平均	12.2時間	









3.4 「⑤～⑨ふだんの時間の過ごし方について」の集計と分析

ふだんの時間の過ごし方	ふだんの時間の過ごし方について、次の項目は1週間（月曜日～日曜日）で何時間くらいになりますか。今学期の平均的な1週間を振り返って、それぞれについてあてはまるもの1つをお選びください。 【選択肢】0時間、1時間未満、1～2時間台、3～5時間台、6～10時間台、11～15時間台、16～20時間台、21時間台以上
	⑤ 大学の授業などへの出席
	⑥ 友だちづきあい
	⑦ サークルや部活動
	⑧ 社会活動（ボランティア、NPO活動などを含む）
	⑨ その他（読書・テレビ・インターネットなど）

<p>⑤ 大学の授業などへの出席</p> <p>3～5 時間台に多く分布して、分布は幅広い。42% (126 人) の学生が 6 時間/週以上、大学に出席しているが、58% (172 人) の学生の出席時間は 5 時間台以下になっている。</p>	0時間	10	
	1時間未満	30	
	1～2時間台	56	
	3～5時間台	76	
	6～10時間台	57	
	11～15時間台	30	
	16～20時間台	13	
	21時間台以上	26	
	<p>⑥ 友だちづきあい</p> <p>「友だちづきあい」の時間は、0 時間が 61.4%と最も高くなった。コロナ禍の昨年度 (2022 年度) は 0 時間の 1.3%に比べて、大幅に増加した。対面での友達関係が希薄になっている。</p>	0時間	183
1時間未満		44	
1～2時間台		30	
3～5時間台		28	
6～10時間台		6	
11～15時間台		4	
16～20時間台		0	
21時間台以上		3	
<p>⑦ サークルや部活動</p> <p>コロナ禍の昨年度 (2022 年度) は、77% (233 人) の学生がサークル・部活動に参加していなかった。今年度は、昨年度に比べて、サークル活動に時間を費やす学生の割合が増大した。</p>		0時間	2
	1時間未満	20	
	1～2時間台	63	
	3～5時間台	54	
	6～10時間台	52	
	11～15時間台	36	
	16～20時間台	24	
	21時間台以上	47	
	<p>⑧ 社会活動 (ボランティア、NPO 活動などを含む)</p> <p>コロナ禍の昨年度 (2022 年度) は、69%の学生が社会活動に参加していなかった。昨年度に比べて、社会活動に時間を費やす学生の割合が増大した。</p>	0時間	2
1時間未満		20	
1～2時間台		63	
3～5時間台		54	
6～10時間台		52	
11～15時間台		36	
16～20時間台		24	
21時間台以上		47	
<p>⑨ その他 (読書・テレビ・インターネットなど)</p> <p>その他 (読書・テレビ・インターネットなど) の時間は、広い分布があり、1～2 時間が最も多くなっている。</p>		0時間	2
	1時間未満	20	
	1～2時間台	63	
	3～5時間台	54	
	6～10時間台	52	
	11～15時間台	36	
	16～20時間台	24	
	21時間台以上	47	







国際交流センター (学生食堂) 利用状況	⑩ 国際交流センター (学生食堂) の一週間あたりの利用頻度についてお答えください。 / Please indicate how often you use International Exchange Center (the student cafeteria) per week.
----------------------	--

国際交流センター (学生食堂) を、48% (=140/294) の学生が 1 回も利用していない。2 回以上の利用学生は、29.6% (=87/294) であった。㉑ 大学への要望 (自由記述) には、食堂・売店の売り切れや営業時間が短いなどの意見がある。

0回	140	
1回	67	
2回	37	
3回	27	
4回	6	
5回	17	

アクティブ・ラーニング	⑪ 本学で多用しているアクティブ・ラーニング（グループワーク、プレゼンテーション、リポート、実習など）について、当てはまると思われることをお答え下さい【複数回答可】。
--------------------	---











アクティブ・ラーニングの効果として、学生は「友人と相談しながら学習できる」、「他人の意見が参考になる」を上げており、全体の66%（=(243+206)/679）を占めている。一方で、15%の学生が、「アクティブ・ラーニングは個人学習よりも学習内容が薄くなる」と感じている。この割合は、昨年度（2022年度）の5%よりも増えている。

友人と相談しながら学習ができる。	243	
他人の意見が参考になる。	206	
英語会話の学習には効果的である。	35	
教員によってやり方が異なるので、混乱する	52	
グループワークのグループ分けに問題を感じる	42	
個人学習よりも学習内容が浅くなる。	101	

3.5 「⑫ 大学卒業後の進路等への準備」のアンケートの集計と分析

大学卒業後の進路への準備について	⑫ 大学卒業後の進路（就職、大学院進学等を含む）に向けた準備・活動をいつ頃から始めようと考えていますか？または、始めましたか？ 【選択肢】 大学1年生の頃、大学2年生の頃、大学3年生の前期、大学3年生の夏休み、大学3年生の後期、大学4年生の前期、大学4年生の夏休み以降、わからない。就職するつもりがない
-------------------------	--

「進路に向けた準備・活動時期」は、3年生前期が最も多く、73%（219人）の学生が、「2年生」から「3年生の後期」から活動を始めたい（または始めた）と答えており、適切な時期と判断される。

大学1年生の頃	33	
大学2年生の頃	45	
大学3年生の前期	84	
大学3年生の夏休み	51	
大学3年生の後期	39	
大学4年生の前期	20	
大学4年生の夏休み以降	4	
わからない	17	
就職するつもりがない	2	
学部段階では特に準備・活動をしない	3	

3.6 「⑬～⑳ 本学についての満足度」の集計と分析

本学についての満足度	本学について、どのくらい満足していますか。それぞれについて、あてはまるもの1つをお選びください。 【選択肢】 とても満足している、まあ満足している、どちらでもない、あまり満足していない、全く満足していない
	⑬ 研究環境（図書館、学習スペース、教員のサポートなど）についての満足度

⑭	進路支援の体制（教員採用試験対策、就職セミナーやガイダンスなど）
⑮	教員（専門性の高さやよい影響を受けるなど）
⑯	授業・教育システム（教育内容やカリキュラム、ゼミ（教科、教職、卒論等）など）
⑰	経済的支援
⑱	心身の健康相談体制
⑲	友人関係
⑳	大学生活を総合的に判断して

本学についての満足度を⑬～⑳の 8 項目で評価した。好意的な評価（「とても満足している」「まあ満足している」）の割合を【 】内に示す。

その割合は、「⑫研究環境（図書館、学習スペース、教員のサポートなど）」は 83%と最も高く、次いで、「⑱友人関係」79%、「⑭教員（専門性の高さやよい影響を受けるなど）」76%、「⑯ 授業・教育システム（教育内容やカリキュラム、ゼミ（教科、教職、卒論等）など）」74%、「⑭ 進路支援の体制（教員採用試験対策、就職セミナーやガイダンスなど）」74%が続いている。一方で、「⑰心身の健康相談体制の満足度」51%、「⑯経済的支援についての満足度」49%は、低い値となっている。

「⑲大学生活を総合的に判断しての満足度」については、76%が好意的な評価となり、昨年度(2022)の 69%よりも増加した。

【 】内の数値は、「とても満足している」「まあ満足している」の占める割合を示す。			
()内は、昨年度 2022 年度の同割合を示す。			
⑬ 研究環境（図書館、学習スペース、教員のサポートなど）についての満足度 【83%】 (78%)	とても満足している	97	
	まあ満足している	132	
	どちらでもない	44	
	あまり満足していない	19	
	全く満足していない	7	
	判断できない	3	
⑭ 進路支援の体制（教員採用試験対策、就職セミナーやガイダンスなど） 【74%】 (65%)	とても満足している	103	
	まあ満足している	93	
	どちらでもない	71	
	あまり満足していない	13	
	全く満足していない	10	
	判断できない	12	
⑮ 教員（専門性の高さやよい影響を受けるなど） 【76%】 (66%)	とても満足している	113	
	まあ満足している	113	
	どちらでもない	53	
	あまり満足していない	11	
	全く満足していない	3	
	判断できない	5	
⑯ 授業・教育システム（教育内容やカリキュラム、ゼミ（教科、教職、卒論等）など） 【74%】 (63%)	とても満足している	108	
	まあ満足している	112	
	どちらでもない	45	
	あまり満足していない	22	
	全く満足していない	6	
	判断できない	5	
⑰ 経済的支援 【49%】 (44%)	とても満足している	55	
	まあ満足している	78	
	どちらでもない	78	
	あまり満足していない	32	
	全く満足していない	36	
	判断できない	23	

⑱ 心身の健康相談体制 【63%】 (51%)	とても満足している	106	
	まあ満足している	81	
	どちらでもない	86	
	あまり満足していない	7	
	全く満足していない	5	
	判断できない	13	
⑲ 友人関係 【79%】 (80%)	とても満足している	151	
	まあ満足している	85	
	どちらでもない	46	
	あまり満足していない	9	
	全く満足していない	2	
	判断できない	5	
⑳ 大学生生活を総合的に判断して 【76%】 (69%)	とても満足している	95	
	まあ満足している	132	
	どちらでもない	46	
	あまり満足していない	16	
	全く満足していない	6	
	判断できない	3	

「㉑ 大学への要望（自由記述）」の集計と分析

㉑ 大学への要望等があれば、簡潔に書いてください（自由記述）。	
【教育面】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生の学習への姿勢に対してもう少し厳しくするか、生徒がモチベーションを保てるような動機を作って欲しいです。 ・ 教育コース以外のコースの人のために、英語力を伸ばすためのセミナーなどをやって欲しい ・ 地域探求の移動手段や留学にかかるお金が自己負担だと、勉強したい意欲があっても金銭的に躊躇われるので、金銭的なサポートをもっと充実させていただけたら嬉しいです。 ・ 資格習得のためのセミナー等を開催して欲しい。 ・ 国際教養学部の方が学費が高いのにゼミがない。学費と見合っていないと思う。 ・ ゼミを卒論システムに入れるべき。 ・ The school should provide more Support for International students
授業	
職員	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務の方々にもっと親身になっていただきたい。 ・ 卒論に関する確認項目と説明を先生方と事務で統一してほしい。 ・ TOEICの結果など留学中の為直接ではなく担当の方へのメールだったのですが、『待ってください』と言われたまま未だ返事が来なく、そういった面は返事を確実に返して欲しいと思いました。 ・ 行事予定や成績などが出るのが遅い。 ・ （好意的意見）私は単位についてとても不安があったのですが、その度にアドバイザーの先生と学務部の方に親身になって相談に乗っていただけるととても助かりました。おかげで学期が始まるごとに不安を感じることなく授業に参加することができました。教授の方々と生徒の距離が近く話しやすい雰囲気がとても好きだったので、これからも続けてほしいと思います。 ・ 履修登録早くして欲しいです。 ・ 年間予定や履修登録を早めに知りたい、早めに履修登録ができるようになってほしい。
【施設面】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業で使用する机が小さすぎてパソコンを使用する際に不便であった。もう少し大きいサイズの机を用意して欲しい。 ・ ASC 横のスタジオの音漏れがひどく、1号館二階中に響くため勉強できない。 ・ 静かに自習できるスペースを増やしてほしい。土日の空き教室を増やして欲しいです。（勉強用）
教室	

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休日も自主学習のために、教室を開放してほしい。
設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教室のプロジェクターの接続ケーブルに異常が時々あるので、点検をお願いしたいです。 ・ たまに、大学のサイトなどにアクセスできないときがあるので、システムのバージョンアップデートをしてほしいです。 ・ 印刷機を増やしてほしいです。 ・ (卓球) Please I would like if the college can be of help providing necessary equipments for table tennis am not really good at it but I think so
図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・ これから図書室の利用が増えると思いますので、閉館時間が伸びると助かります。
学生食堂	<ul style="list-style-type: none"> ・ せめてコンビニが欲しいです。短大のコンビニは品数も少なく空いている時間も短い。食堂も空いている時間も短くすぐに売り切れます。少しお腹が空いた時にわざわざ学校から出て買いに行くのは大変です。車がないと空きコマでは買いに行けません。 ・ コンビニが欲しい ・ ワイショップが無くなってとても不便なのでコンビニが欲しい。短大の売店閉まる時間が早いし、国際大から遠いから不便。 ・ 学食のキャッシュレス決済の導入 ・ 自販機が多くないだろうか (多すぎるという意味)。 ・ 売店の時間を長くするか、食べ物の自動販売機を設置して欲しい
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場なんかひろげられませんか ・ 駐車場の無償化
トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・ トイレが古い (冬は便座が冷たい)。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ あまり変える必要のない設備を新しくするより、自分たちに関わることに還元してほしい。 ・ WS の給与を早めに頂きたい。
【その他】	
学生間交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ AA 制度が機能していたのが初期のオリエンテーションの際だけで、先輩に聞きたいことも聞けない状況になっているなど先輩との交流が少ないと感じるので、学年を超えた交流の場を設けて欲しいです。 ・ 教育学部・国際教養学部間の交流が欲しい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ この4年間は大変お世話になりました。ありがとうございます！ ・ I don't think I have for now because everything is perfect. Thanks